健康投資

様々な効果に関連する健康投資（注）

- 定期健康診断
  ストレスチェック実施
- 勤務/休暇制度
  テレワーク制度導入
  短時間フレックス導入
  あんしん休暇導入
- カフェテリアプラン拡充
- 営業支援システム導入(SF)

健康投資効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標

- 健康推進キャンペーン
- 保健指導/特定保健指導の強化
- 喫煙者への個別指導
- 喫煙所の閉鎖・縮小
- EPAチャレンジ
- 健康番付(個人番付)
- 任意セミナー
  ・運動セミナー
  ・食事セミナー
- 必須セミナー
  ・労働時間研修
  ・ハラスメント研修
  ・受動喫煙セミナー
  ・女性の健康セミナー
- 人事による指導
  ・労働時間
  ・休暇取得
  ・高ストレス

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- キャンペーン参加数増
- 保健指導 実施率/実施数増
- 喫煙所の設置数減
- チャレンジ参加数増
- 健康番付エントリー数増
- 任意セミナー参加数増
- 必須セミナー対象拡大
- 実施率増対象拡大

健康関連の最終的な目標指標

個人の健康促進

- 肥満率の低減
- 喫煙率の低減
- EPA/AA比の向上

私生活との両立

- 育児・介護離職の低減
- 休暇取得率の向上
- 時間外勤務の削減

働きやすい職場

- ハラスメントの低減

- 有所見者率の低減
- プレゼンティーイズム(パフォーマンス低下)の低減
- アブセンティーイズム(体調不良による休暇)の低減
- 働きやすさ(ワークエンゲージメント)の向上
- 働きがい(社員満足度)の向上

健康経営で解決したい経営課題

健康経営宣言の実現

① 一人ひとりが、能力を充分に発揮できること

② 従業員とその家族のQOL(生活の質)が向上すること

③ 健康的な食の提案とともに水産物由来の機能性成分を最大限に活用し、人々の健康に貢献すること

社会的価値

健康寿命伸長によるQOL向上
多様な人材の雇用機会創出

企業価値

従業員がいきいきと能力を発揮することによる生産性向上

私生活と両立しながら安心して働ける職場に対する企業魅力度向上

健康資源

人的健康資源

- 健康診断データ
- 労働時間
- 休暇取得率
- 医療費額
- ストレスチェック
- 生活習慣問診データ
- 施策参加率
- アンケート調査
- 育児・介護者数
- 年代/性別データ
- 栄養に関する専門性
- コラボヘルス体制
- データヘルス体制
- 健康経営WG体制
- 産業保健体制
- 安全衛生委員会

環境健康資源

- 健康経営宣言
- 経営のコミットメント
- 働き方改革推進
- CSR経営
- 勤務/休暇制度
- 情報インフラ